

保土谷化学グループの価値創造プロセス

保土谷化学グループは、内外の環境変化、ステークホルダーの皆様からの要請を踏まえ、私たちが目指す企業像を、「スペシャリティ製品を軸としたオリジナリティにあふれるポートフォリオと環境に優しいモノづくりで、持続可能な社会の実現に貢献する企業」としております。これからも、「化学で夢のお手伝い」をキャッチフレーズにそれぞれの事業活動から創出された価値を通じて、社会課題を解決し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

PURPOSE

私たちは、化学技術の
お客様が期待し満足する高品質の
環境調和型の生活

～経営理念～

絶えざる革新を通じ、
製品・サービスを世界に提供し、
文化の創造に貢献します。

VISION

～目指す企業像～

スペシャリティ製品を軸とした
オリジナリティにあふれるポートフォリオと
環境に優しいモノづくりで、持続可能な
社会の実現に貢献する企業



外部環境認識



リスクと機会
▶P.17-18

インプット (2022年度)

財務資本

価値創造を実現する財務基盤・投資

- 純資産 49,897百万円
- 1株当たりの純資産 5,405.73円
- 自己資本 42,835百万円
- 有利子負債 10,521百万円

人的資本

自ら学び考え行動できる人材

- 連結従業員数 890人
- 海外従業員比率 30.6%
- 人件費 2,505百万円
- 1人当たりの教育投資額（個別） 72千円
- 1人当たりの平均研修時間 106.6時間

知的資本

グローバルな競争力を支える技術・協創基盤

- 産学共同（新規素材開発）実施
- 研究開発費 4,939百万円
- 売上高研究開発費率 11.4%
- 知的財産保護に関するノウハウ

製造資本

グローバルに展開する生産拠点

- グローバルな生産拠点体制
生産拠点数（国内3拠点、国外1拠点）
- 設備投資額 3,100百万円
- 売上高設備投資比率 7.2%
- 環境配慮原材料の使用

社会・関係資本

さまざまなステークホルダーとの共創を通じた長期的な顧客基盤、信頼関係

- 保土谷化学とパートナーが同レベルの調達方針
- 販売子会社（国内6社、海外4社）
- 安心・安全な製品の開発、製造体制
- 106年の歴史で積み上げた信頼とHCCブランド

自然資本

資源の効率活用

- エネルギー消費量（原油換算） 27,562kl
- 水使用量 10,680千t

強み

長年にわたり
積み上げてきた
チカラ

揺るぎない3つの
基盤技術力

- 高純度化技術力
- 機能素材開発力
- 機能素材評価力

進化し続ける3つの
企業力

- 価値創造力
- 研究開発力
- 生産技術力

強み ▶P.16

ビジネス モデル

常に高品質の
製品・サービス
を提供

研究開発
最先端の研究テーマに
基づき、次代を
ひらく技術を追求

生産
「環境」と「安全」
を考えつきた
質の高い
モノづくりを推進

販売
社会ニーズ・
顧客ニーズを
的確に
読み取る力

独自の技術力・
ネットワークを活かして
多種多様な
要望に対応

中期経営計画 SPEED25/30

事業強化・新製品創出・生産性向上・
経営基盤強化・戦略投資の実行・
サステナビリティの推進・DXの推進
▶P.22-24

レスポン シブルケア ▶P.41	人材 ▶P.47	人権の尊重 ▶P.49	コーポレート・ ガバナンス ▶P.51	コンプライアンス・ リスクマネジメント ▶P.58-59
------------------------	-------------	----------------	---------------------------	------------------------------------

価値創出を 支える基盤

アウトプット (2022年度)

セグメント別売上高

43,324
百万円

- 機能性色素 17,990百万円 41.6%
- 機能性樹脂 11,580百万円 26.7%
- 基礎化学品 7,152百万円 16.5%
- アグロサイエンス 4,628百万円 10.7%
- 物流関連 1,874百万円 4.3%

事業概要 ▶P.32-36

アウトカム

経済価値

企業価値向上に向けた資本政策

- DOE 1.4%
- 10年間のTSR +78.8%
(年率+6.0%)

人的価値

働きやすい環境を創出し、
多様な人材の活躍

- 従業員エンゲージメント向上
- 海外売上比率 51%
- 女性管理職比率 11%
- 「健康経営優良法人」3年連続取得
- 育児休暇取得率 男 83%
女 100%
- 有給休暇取得率 71%
- コンプライアンス検定取得率（国内）
99.2%（管理職）

知的価値

新たなイノベーションを創出し、
企業価値を向上

- 売上高に対する新製品比率向上

製造価値

事業拡大のための競争優位性の向上

- 韓国SFCバイオ棟の新設
- 環境配慮製品の拡大

社会価値

事業活動を通じた地域環境への配慮

- グローバルレベルの調達方針の遵守
- 法令違反ゼロ、休業災害ゼロ
- 社会貢献活動 14百万円

環境価値

地球環境問題への配慮

- エネルギー原単位 0.636kl/売上高百万円
- CO₂排出量（SCOPE1+SCOPE2）
4.57万t（1.055t/売上高百万円）
- 水排出量 10,684千t
- 産業廃棄物発生量 3,477t

マテリアリティ ▶P.19-20

インパクト

- IT・通信分野
・豊かなスマートライフ
の実現に貢献
- メディカル・
ヘルスケア分野
・人々の健康維持と
安全・安心な医療
サービスの提供に貢献
- 建築・
インフラ分野
・建築用材料の提供を
通じた建築物の
安全・耐久性の向上
- 食品分野
・安心・安全で
豊かな食生活の
実現への貢献
- 日用品分野
・安心・安全で
快適な暮らしを
サポート
- 輸送・物流分野
・安全な物流機能の
提供